

日本生産性本部は11月19日、第100期「人事部長クラブ」の11月例会を都内で開催（オンライン併用）した。当日は「企業価値向上のための人材戦略・共創型人材の育成と企業文化醸成」をテーマに、取締役常務執行役員CHRO（最高人事責任者）として人材育成と企業文化醸成に取り組んでいるレゾナック・ホールディングスの今井のり氏が講演した。

第100期人事部長クラブ

同社は2023年1月に昭和电工と昭和電工マテリアルズ（旧独立化成）が統合して誕生した。今井氏は、同社が推進している経営改革と人的資本経営は、経営トップが率先垂範していることや、事業ポートフォリオ経営と一体の人的資本経営を行っていること、経営改革（取締役会と業務執行）と人事改革を連動させ、川上から順に展開していること、経営理念を基軸として人材育成と企業文化醸成に取り組んでいるレゾナック・ホールディングスの今井のり氏が講演した。

だと説明した。

人材育成では、社会

課題の解決をめざし、

会社や部門を超えて、

共感・共鳴で自律的に

つながり、共創を通じて創造的に変革と課題解決をリードできる「共創型人材」を育成するため、バリューに沿った人材施策や、モーダル提供などの施

CEO・CHRO主催のワークショップ「モヤモヤ会議」（2023年度実績で36回開催、864人参加）では自分の考えを率直に言える環境をつくり、パーカス実現に向けた挑戦をエントリーし、その挑戦をチームで行う「グローバルアワードAHA！」では、エントリーチームを対象とした交流会や、選考会、グローバルでの称賛の機会を設け、共感・共創の輪を広げている（2024年度には991チーム、1万2073人が参加）。音楽フェスの

組織を超えたコミュニケーションと共有、経営陣と従業員の直接対話、理解と浸透をはかるツール提供などの施策を展開している。

共感・共創の輪広げる機会

CEO・CHRO主催のワークショップ「モヤモヤ会議」（2023年度実績で36回開催、864人参加）

ように自分の行きたい

ステージに行き、楽し

く学び、新たな出会いを得る「ラーニングフ

「エス」では大規模会場で複数ステージや交流

スペースを用意。約1500人が集い、大盛況の中、2日間にわたり開催している。

今井氏は、「経営は見えない課題は解けない」ので、従業員エンゲ

ージメント調査などを通して人事課題の見え

化にこだわっている。

組織を超えたコミュニケーションと共有、経

営陣と従業員の直接対話、理解と浸透をはか

るために、バリューに沿った人材施策や、モーダル提供などの施策を展開している。

「共創型人材」育成し課題解決

レゾナックHD「企業価値向上のための人材戦略」

共創型人材の輪を広げる機会

組織を超えたコミュニケーションと共有、経